



学校だより

7月号

横浜市立桜台小学校

令和2年6月30日発行

学校が再開されて

副校長 高浜 正太郎

梅雨空のもと、学校の周辺には色とりどりのアジサイの花が咲いています。校内では、2年生の花壇にある夏野菜や5年生のバケツ稲も順調に生長しています。改めて植物にとっては大切な季節であると感じさせられます。町を歩いているとツバメの巣も見られます。親鳥が来ると大きな口を開けて餌をねだる子ツバメの姿がたいへん可愛らしく、微笑ましく感じられます。そして親鳥が熱心に餌を運ぶ姿には感心させられます。

さて、6月より学校が再開されて1か月が経ちました。第一期の分散登校から第二期の一斉午前授業へと段階的に学校での教育活動を進めてまいりました。校内では、新型コロナウイルス感染予防対策を万全にするために、児童下校後の校内消毒作業をはじめとする保健管理体制を構築しています。また、「桜台スタンダード(新しい学校生活様式版)」を作成して、教職員が共通理解を図った上で、子どもたちに指導をしています。子どもたちは手洗い・うがいの励行、換気の徹底、身体的距離の確保、マスクの着用等を心がけるとともに、休み時間の過ごし方や流し場及びトイレの使い方を正しく理解して、適切に行動しています。

様々な制限や決まりがある中ですが、6年生の子どもたちにこのスタンダードを提示して、自分たちで考え、話し合うことにより、主体的に取り組むことができるようにしました。その結果、登校後の昇降口での並び方や休み時間の遊び方、流し場の利用方法等、新たな方法が意見として出されました。最高学年として、自覚ある行動が期待されます。

学校再開とともに、登校時に門に立って子どもたちの登校を見守る活動も再開しました。どの子もマスクを着用しているからなのか、「おはようございます。」という挨拶を交わす子どもの人数が、臨時休業前と比べると少なくなったような気がしました。ところが、日が経つにつれ、学校での集団生活に慣れてきたようで、次第に元気よく挨拶を交わす桜台小学校の子どもたちの姿が戻ってきました。

学援隊として毎日の登下校時の見守り活動をしていただいている地域や保護者の皆様に対する感謝の気持ちを表す上でも、桜台小学校の子どもたちには元気よく挨拶してほしいと願っています。一人ひとりの行動が学年全体の行動に生かされて、それが全学年に波及したときによき伝統となって受け継がれていくことでしょう。

明日7月より第三期が始まり、給食開始とともに午後の授業も行われ、通常の学校生活に戻ります。本年度は7月末日まで授業を行うことから、熱中症対策も心がけながら、教育活動を進めてまいります。夏休みまであと1か月ありますが、各ご家庭におかれましては、子どもたちの体調管理に引き続きご協力をお願いいたします。



2年生 学年園のナス